

2025 年度入試 筑波大学附属小学校 A グループ男子・A グループ女子 試験内容 <速報>

●受付

- ・門前に先生がいてアナウンスをしている。1.校舎に入る前に室内履きを履く。2.試験は2時間程度かかること。3.トイレ誘導をすること。4.携帯 OFF。を指示される。
- ・講堂に移動して受付。受験番号順（アルファベットごとに列が分けられる）に受付し、番号が書かれている席に着席。1 クラス最大 30 名。受験票を本人に渡し、本人確認がされる。
- ・受験番号表示は、前年同様に左胸と右肩に貼るシールに代用。講堂のスクリーンに指示が書かれている。
- ・受験生はクラスごとに整列し（通路側に子供を座らせるよう指示あり）、先生の引率のもと教室に移動。準備が整ったクラスから誘導されていく。受付後から試験教室誘導まではクラスごとに経過時間が異なる。
- ・保護者席に記入ボードが置いてある。中に作文記入用紙が挟まっている。作文用紙以外は片付けてしまうように指示される。
- ・講堂に保護者だけになると、注意事項の説明、作文課題発表、学校紹介のビデオを見る。
- ・校長先生からの話の後、作文を書く（記入時間は 25 分）。メモは作文用紙の裏側に書くよう指示される。作文の課題は正面のスクリーンに表示され、作文用紙の欄に書き込む。その他、具体的な指示は裏側に書き取る。作文記入後、受験票が返却される。
- ・解散まで保護者は講堂で待機。

●保護者の過ごし方

<前年との共通点> 学校紹介のビデオを先に視聴してからアンケートを記入

<アンケート用紙> 直前講習<P 学力>で配布した見本と同じ用紙。

★課題テーマ「6年を通して本校の教育に期待すること、保護者として成長をどう支えるのか。」

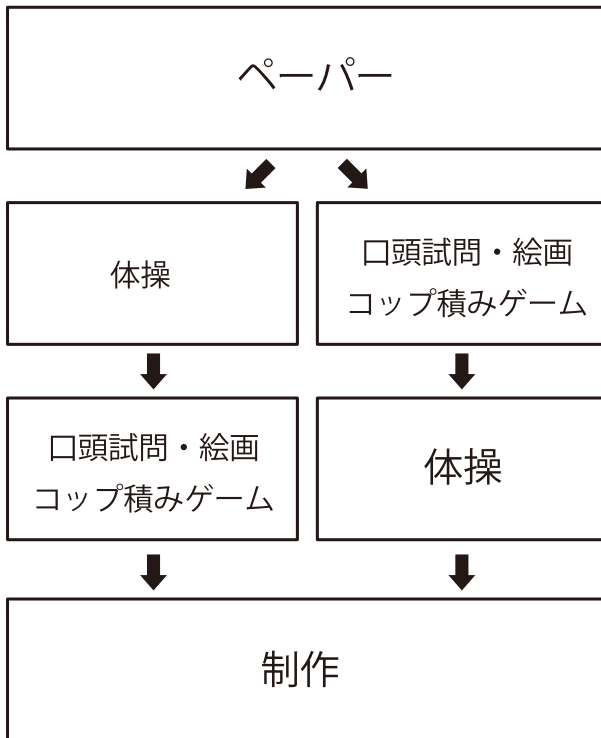
- 1.筑波の授業を含む日常生活を通じた学び
- 2.学校行事を通じた学び
- 3.上の2点を踏まえて、親はどのようにサポートするのか

※上記3項目の回答を織り交ぜて文章で記入する。アンケート用紙に番号を記入し、その続きから回答を記入。また、ナンバリングされていないが「P T A活動に参加されるか」についても回答すること。前年との違いは、各課題テーマの下線部のみ文言が異なる。なお、上記は講堂スクリーンに表示される。

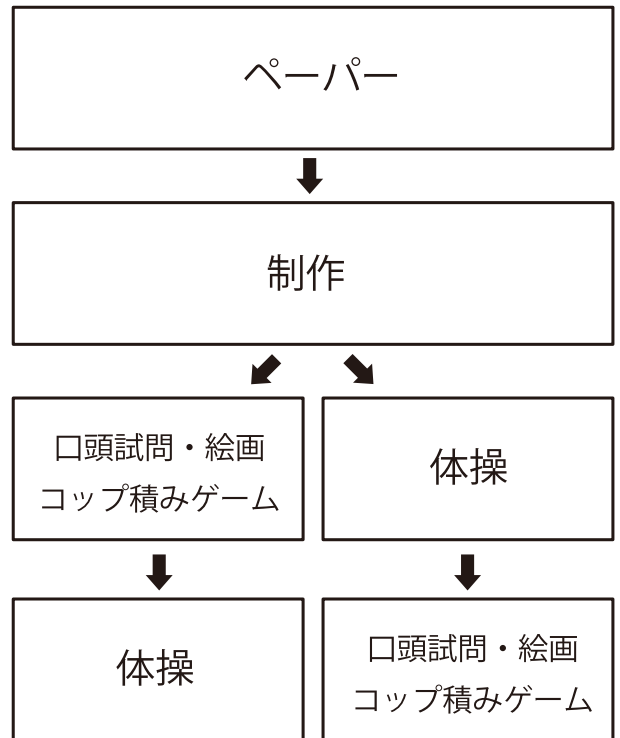
●試験の流れ

<定員>ペーパーと制作は 30 名一斉実施。それ以外の考査は 15 名ずつに分けて実施。体操のみ別室。実施クラスによって報告が異なるため、現時点では以下のパターンが考えられる。なお、考査の順序は、前年も同じく固定されていなかったため、空きクラス・スピーカーとなる先生によって変わると思われる。

パターン A



パターン B



●ペーパー

当スクールと同様に電子黒板（プロジェクター）にて問題説明。1 枚目がお話の記憶、2 枚目に図形。箱の中にクーピーペンが6 本。色は、赤色・青色・黒色・緑色・黄色・橙色。入室時に机の上にペーパーが表の状態置いてある。お話の記憶開始前にペーパーを裏返しにするように指示がある。

1 枚目-お話の記憶＜A グループ男子＞

＜問題数＞12 問

＜筆記具＞赤色のクーピーペン ※別の色で塗る問題もある

＜ペーパーの向き＞横向き B4 サイズ程度。問題の配置は2 列で、各 6 問ずつ印刷されている

※お話はすべてスピーカーによる聞き取り。設問は、出題者による肉声でおこなわれた。

（A グループ男子・お話再現）

あおいくんはお姉ちゃんのみどりさん、お父さん、お母さんの4 人家族です。それと、イヌのソラを飼っています。あおいくんは今日、みんなで本屋さんにお出かけに行くのを、とても楽しみにしていました。

「そろそろ、出かけるよ。」とお父さんが言うと、ソラがいちもくさんに玄関に来ました。お母さんが、「ソラはお家で留守番なの。大好物のチーズをあげるからいい子で待っていてね。」と言いました。ソラは大喜びでチーズを咥えてリビングに戻っていききました。4 人が玄関を出ると、雪が降っていたので電車で向かうことにしました。まずはじめに赤色の電車に乗って、次に青色の電車に乗りました。本屋さんに着くと、入り口に「今日は 17 時に閉店です。」と書かれた看板がありました。それを見たあおいくんは「閉じ込め

無断転載（SNS 等含む）・引用・出品等不可

られたらどうしよう。」と思って不安になりましたが、みどりさんが「17 時までに出れば大丈夫だよ。」と言ったので安心しました。本屋さんは広いので家族は分かれることにしました。お父さんが「じゃんけんで決めよう。ジャンケンポン。」と言って、一回戦目、みんながグーを出してあいこでした。みんなはクスクスと笑いました。二回戦目はお父さんとみどりさんがパー、お母さんとあおいくんはチョキを出して、チームが決まりました。お母さんが「本を買い終わったら、近くの公園のベンチでお昼ごはんを食べましょう。みんなは何が食べたい？」と言いました。みどりさんは「私はたこ焼きが食べたい！」と言いました。お父さんは「僕は焼きそばがいいな。」と言いました。あおいくんは「僕もたこ焼きが食べたい！それと綿あめも食べたいな。」と言いました。お母さんはにっこり笑って「わかったわ。買っておくわね。じゃあ買い物が終わったら本屋さんの入り口に集合しましょう。」と言いました。お父さんとみどりさんは、はじめにみどりさんの欲しい本を探すことにしました。みどりさんは色々な音が鳴る本を選びました。本をめくると川の音や鳥の鳴き声、馬の鳴き声が聞こえてきます。次にお父さんの欲しい本を見に行きました。お父さんは「何を買おうかな。」と迷った後、5冊も本を買いました。お母さんとあおいくんは図鑑を見に行きました。あおいくんは虫と乗り物の図鑑で迷いましたが、大好きなてんとう虫が紹介されている図鑑を買うことに決めました。お母さんは欲しい本がなかったので何も買わず、本屋さんの前の屋台でお昼ごはんを買いました。お昼の鐘が「カーン、カーン。」となりました。家族は本屋さんの入り口に集まってから、近くの公園まで向かいました。ベンチに座ってお昼ごはんを食べます。あおいくんとお父さんは緑色、みどりさんとお母さんは青色のベンチに座りました。お母さんが、「さあ召し上がれ。」と言ってたこ焼きと焼きそばを出してくれました。あおいくんが「あれ？僕の綿あめは？」と聞くと、お母さんがハッとして「ごめんね。買い忘れてしまったわ。」と言って謝りました。あおいくんは「いいよ。また今度買ってね。」と言いました。お昼ごはんを食べ終わって、帰ることにしました。帰りは公園の近くのバス停からバスに乗りました。あおいくんは「ソラ、何をして待っているかな。ボール遊びかな。」と考えながら帰りました。

★設問

①あおいくんは何人家族ですか。その数だけ○を囲みましょう。

→4 個○を囲む

②一番はじめに玄関に来たのは誰ですか。イヌのソラだと思う人は青色、みどりさんだと思う人は赤色で○の中を塗りましょう。

→青色で塗る

③今日の天気は何ですか。その天気に○をつけます。

→雪

④家族で乗った電車は何色ですか。その色で○の中を塗りましょう。

→赤色と青色

⑤本屋さんで2回じゃんけんをしました。お父さんが出した手に○をつけます。

→グーとパー

⑥みどりさんが買った本から聞こえない音の絵に○をつけます。

→セミの鳴き音

⑦お父さんが買った本は何冊ですか。その数だけ○を囲みます。

→5個○を囲む

⑧お昼の鐘は何回鳴りましたか。その数だけ○を囲みます。

→2個○を囲む

⑨お母さんが買い忘れたものに○をつけます。

→綿あめ

⑩あおいくんが座ったベンチの色で○の中を塗りましょう。

→緑色

⑪帰り道に乗った乗り物に○をつけます。

→バス

⑫このお話の季節に○をつけます。

→クリスマス（冬）

2枚目-図形（移動）＜A グループ男子＞

＜問題数＞15 問（例題が1 問）

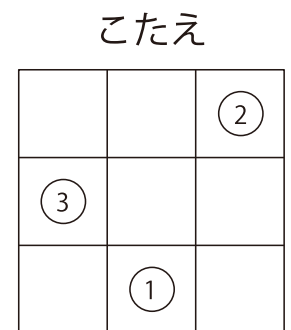
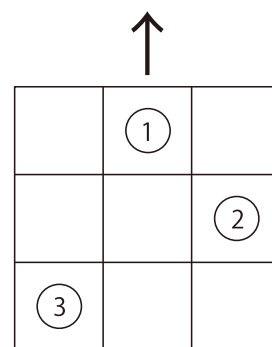
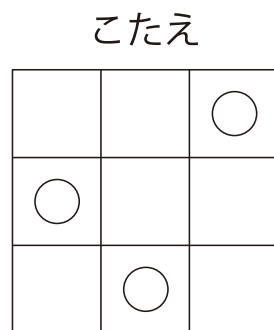
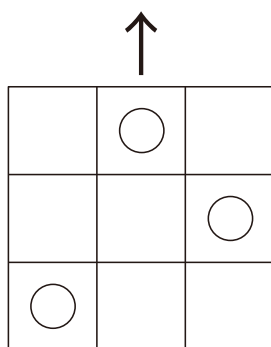
＜筆記具＞赤色のクーピーペン

＜ペーパーの向き＞横向き B4サイズ程度。問題の配置は3 列で、各5 問ずつ印刷されている

★説明要約「マスの中にいくつかの○があります。この○をマスの近くにある矢印の向きに従って動かします。このとき、マスからはみだしてしまう○がありますが、この○はマスの反対側から戻ってきます。

この約束で○がどの位置に動くのかを考えて、隣の何も描かれていないマスに○を描きましょう。」

実施時間は3分程度と例年通り短いと予想できるが、聞き取りをしたスクール会員の子のうち、すべてできたと言っている子が大半いる。設問は電子黒板を用いて説明。例題を全員で解いた後、残り14 問を時間内に解答する従来通りのパターン。前半10 問は3×3 マス、最後5問は4×4マス。



1 枚目-お話の記憶＜A グループ女子＞

＜問題数＞12 問

＜筆記具＞赤色のクーピーペン ※別の色で塗る問題もある

＜ペーパーの向き＞横向き B4サイズ程度。問題の配置は2列で、各6問ずつ印刷されている

※問題の配置は2列で、各6問ずつ印刷されている。お話はすべてスピーカーによる聞き取り。設問は、出題者による肉声でおこなわれた。

（A グループ女子・お話再現）

「うみはひろいな おおきいな」お姉さんのなぎささんは飼っているネコのシロをなでながら歌を歌いました。今朝はシロが起こしてくれました。なぎささんはシロに「ありがとう。」と言うと、「さあ、みなとをを起こしに行かなくっちゃ。」と言って、弟の部屋へ向かいました。「みなと、おはよう。起きて。」と言うと、みなとくんは「まだ眠いよ。」と言って目を開けません。なぎささんはニヤリと笑いながら、「起きたらみなとが大好きなアイスクリームをあげるよ。」と言いました。それを聞いたみなとくんは「本当に？」と言いながら起き上がりました。なぎささんは「まだ朝ご飯を食べてないから食べられないでしょ。みなとは本当にアイスクリームが好きなのね。」と言って笑いました。次にお父さんとお母さんの部屋に向かいました。「おはよう。起きて。」と言いながら扉を開けると、部屋の電気がついていて、お父さんとお母さんは起きていました。なぎささんが「あれ、どうして起きているの？」と聞くとお母さんが「なぎさが歌っている声で目が覚めたの。良く聞こえたわよ。」と言いました。家族全員起きたので朝ご飯を食べることにしました。お母さんが朝ご飯にご飯、お味噌汁、卵焼きとなぎささんが好きなプリンを準備してくれました。朝ご飯を食べた後、今日はどこに出かけるかみんなで相談することにしました。お父さんが「今朝の天気予報でこの後雨が降るって言っていたよ。今日は水族館に行くのはどうかな。」と言ったので水族館に出かけることにしました。水族館までは、まずバスに乗って駅まで向かい、そのあと電車に乗っていきます。みなとくんは電車に乗るのが初めてです。電車がトンネルの中を通ったとき外が真っ黒になりました。みなとくんはとてもびっくりしました。みなとくんは大きな水族館に行くのも初めてです。わくわくしながら電車を降りました。電車を降りると「ミーン、ミーン」と元気な鳴き声が聞こえてきました。水族館は広いので家族は分かれることにしました。チームをじゃんけんで決めます。1 回目お父さんはパー、他の人はチョキを出しました。2 回目お父さんとなぎささんはチョキ、お母さんとみなとくんはパーを出しました。12 時にベンチに集合する約束をして分かれしました。お父さんとなぎささんはまず最初に5階のペンギンを見に行くことにしました。5階は屋上です。外に出ると、ペンギンが大きな水槽の中ですいすい気持ちよさそうに泳いでいます。なぎささんが「雨の予報だったけれど、晴れてよかったね。」とにっこり笑って言いました。お父さんは「そうだなあ、暑いくらいだなあ。」と言いながら顔を団扇であおぎました。お父さんはカメラを持ってきたのでペンギンと一緒に写真撮影をしようと思いました。近くに写真を撮っている家族がいたので一緒に撮ってもらいました。次に4階のサメを見に行くことにしました。大きなサメが悠々と泳いでいます。みなとくんはサメが大嫌いです。なぎささんは「みなとがお父さんと

チームではなくてよかったね。お父さんとチームだったら泣いていたかもしれないね。」と言って笑いました。12 時になったのでお父さんとなぎさんはベンチに向かいました。しかし、しばらく待っていてもお母さんもみなとくんもなかなか来ません。お父さんは「遅いね。何をしているんだろう。」と少し怒っています。そこへ「遅くなってごめんね。」と言いながらお母さんとみなとくんがやってきました。みなとくんはアイスクリームを手に持っています。それを見たなぎさんが「みなとばかりずるい。」と言いました。お母さんは「この後イルカショーが始まるわ。イルカショーが終わったら買いに行きましょう。」と言いました。イルカショーの席に向かう途中、みなとくんは段差に躓いてアイスクリームを落として泣いてしまいました。それを見たお父さんは「それもいい思い出だよ。」と言って笑いました。

★設問

①最初に起きたのは誰ですか。なぎさんだと思ったら赤色、ネコだと思ったら青色のクーピーで○を塗ります。

→青色で塗る

②水族館へは何人で行きましたか。その数だけ○を囲みましょう。

→4 個○を囲む

③朝ご飯になかったものに○をつけます。

→アイスクリーム

④みなとくんが初めてトンネルを通ったときにびっくりしたのは窓の外が何色だったからですか。その色で○の中を塗りましょう。

→黒色

⑤みなとくんが好きなものに○をつけます。

→電車とアイスクリーム

⑥初めて大きな水族館行く人数だけ○を囲みます。

→1 個○を囲む

⑦じゃんけんをした時にお父さんが最初に出した手に青色、2 回目に出した手に赤色で○をつけます。

→青色：パー、赤色：チョキ

⑧今日の天気○をつけます。

→晴れ

⑨カメラを持ってきた人に○をつけます。

→お父さん

⑩みなとくんが嫌いな生き物に○をつけます。

→サメ

⑪サメがいた階数分だけ○を囲みます。

→4 個○を囲む

⑫このお話の季節に関係ないものに○をつけます。

→チューリップ、紅葉、雪だるま

2枚目-図形（移動）＜Aグループ女子＞

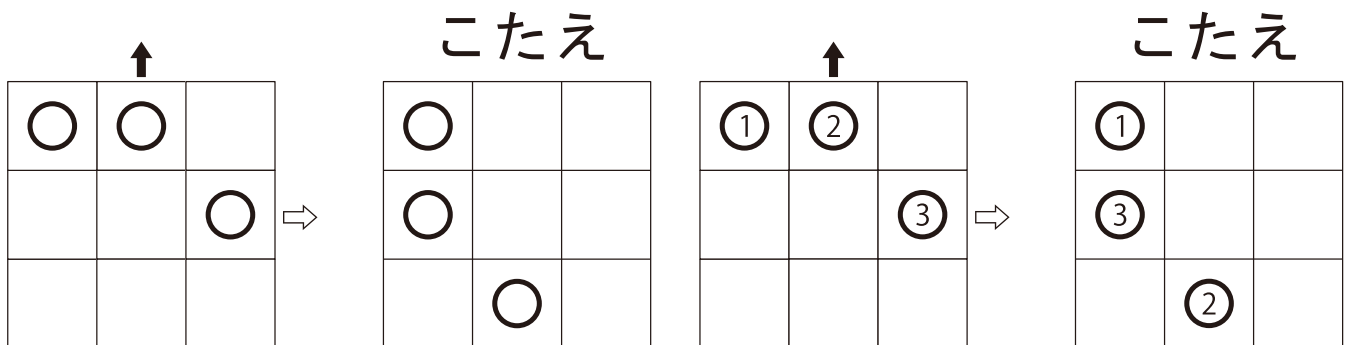
＜問題数＞15問（例題が1問）

＜筆記具＞赤色のクーピーペン

＜ペーパーの向き＞横向き B4サイズ程度

＜問題の配置＞3列で、各5問ずつ印刷されている

★説明要約「マスの中にいくつかの○があります。この○を矢印の向きに従って動かします。矢印はそれぞれの列・行にのみかかっているため、そのほかの○は動かしません。このとき、マスからはみだしてしまう○がありますが、この○はマスの反対側から戻ってきます。この約束で○がどの位置に動くのかを考えて、隣の何も描かれていないマスに○を描きましょう。」



実施時間は3分程度と例年通り短いと予想できるが、聞き取りをしたスクール会員の子のうち、すべてできたと言っている子が大半いる。設問は電子黒板を用いて説明。例題を全員で解いた後、残り15問を時間内に解答する従来通りのパターン。前半9問は3×3マス、最後5問は4×4マス。」

●口頭試問・コップ積みゲーム・絵画

30名を分散して実施。

Aチーム：口頭試問・コップ積みが15名

Bチーム：絵画が15名

口頭試問は15名ずつ呼ばれて教室の端で実施。この待ち時間で絵画をおこなう。

【口頭試問】

まず、15名を5人ずつに分けて、各グループが先生の前に体操すわりで並んで面接をおこなう。全員が先生の前に立って横並びになるため、質問される内容は皆が異なる。ひとり2問との報告が多い。答えた回答に対して理由を聞かれることはない。以下、聞き取りであった質問内容。

- ・誕生日はいつですか
- ・一枚絵を見せられて（泣いている絵）こういう子がいたらどうしますか
- ・一枚絵を見せられて（怒っている絵、笑っている絵）あなたがこういう顔になるのはどんなときですか

※終了後、再び絵を描いて待つ。

【コップ積みゲーム】

15 人を3グループに分けて実施。先生とコップ積みゲームをしようとの説明がある。2回戦実施。1グループに用意されているコップは50個程度（3つ程度に小分けされている）。とくに競争という指示は無いが、5人で協力をして素早く積むようなニュアンスで伝えられる。グループによっては、1回戦目は練習、2回戦目が本番だと指示あり。

【絵画】

左上に受験番号が印字された B5 サイズの白い紙が配布（ペーパーと一緒に綴じてあるわけではない）され、指示に合った絵を描くよう指示。テーマは「家族全員で遊んでいる絵」「自分の好きな絵」など、クラスによって報告が異なる。実施中はとくに指示が追加であるわけではなく、時間になったら終了。

●制作

【A グループ男子「へび」】

＜作業手順＞モニターに拡大して先生が実演しながら説明

＜材料＞A4 厚紙 1/3 サイズの紙、細長い赤い画用紙、紐、シール(特大、中)、ちぎり用紙（目）

＜道具＞クーピー、スティックのり

（左）上から見た図



（中央）下から見た図



（右）横から見た図



- ① 画用紙の線のところで折り、裏返しにしてさらに折ります。(三つ折りにする)
- ② 穴に紐を通して蝶結びをします。
- ③ 赤い画用紙をかた結びのように折り、余った画用紙が長い方に特大シールをつけ、厚紙の穴の開いていない方の紙の裏側に貼りベロを作ります。その後、特大シールの上に中シールを貼ります。
- ④ 目の内側の半分を赤で、外側の半分を青で塗ります。このとき、塗る場所が反対になるようにします。
- ⑤ 目の線で半分に折り、黒い太い線をちぎり、ちぎった目をベロの反対側にのりで貼ります。
- ⑥ ベロにちぎって余った紙(丸くくりぬきがある)の指輪をベロに通して完成です。

●制作

【Aグループ女子「ウサギ」】

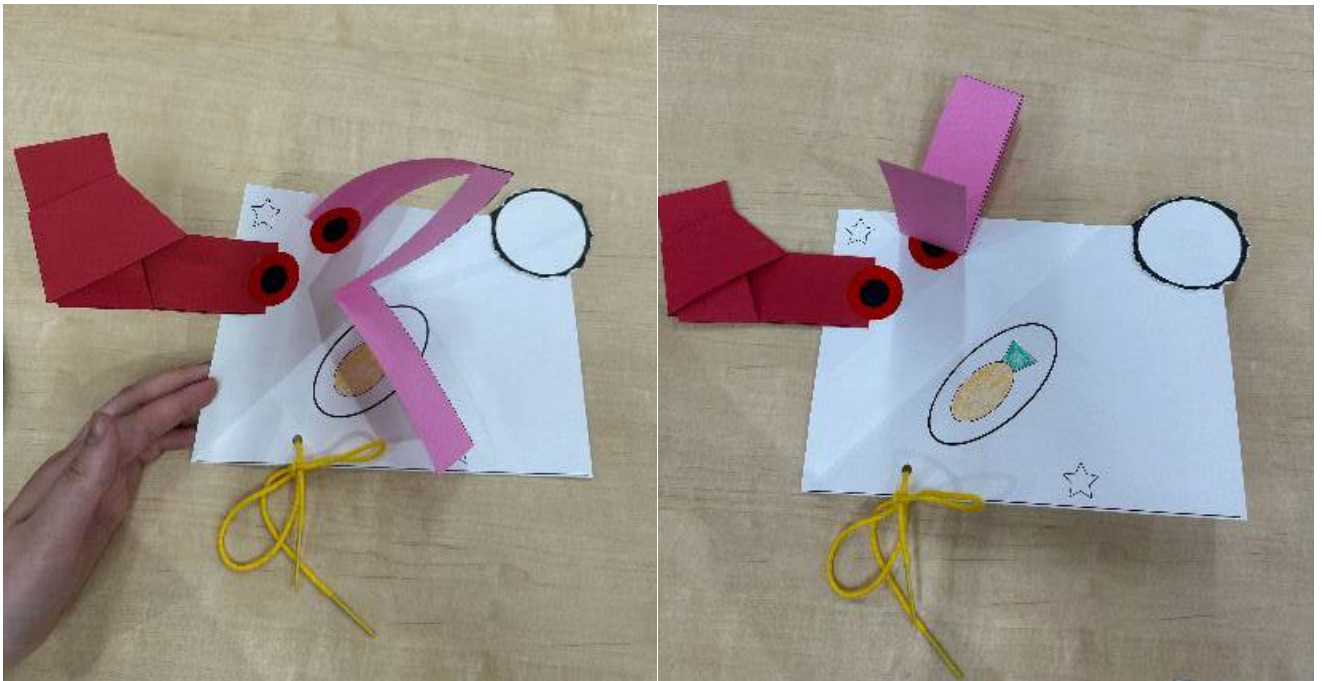
＜作業手順＞

モニターに拡大して先生が実演しながら説明。先生が「ウサギを作る」と言い、その中で「ここは目だよ、これは尻尾だよ」という声掛けはあるものの、制作をする上での注意点はとくに指示されない。映し出されたお手本作品は、折りが開かれた状態で上から見た様子が映されていた。

＜材料＞

細長いピンク色の画用紙（A4用紙を縦6分割程度）、細長い赤色の画用紙（A4用紙を縦6分割程度）、穴のあいた白い画用紙（A4用紙を縦半分サイズ）、赤色の丸シール大×2枚、黒色の丸シール小×2枚、丸い太線の描かれたちぎり用紙、黄色のつづりひも1本

＜道具＞クーピー、スティックのり



- ① 赤色の丸シールの上に、黒色のシールを重ねて貼る。シールはウサギの目になる。
- ② 白い画用紙に描かれている☆と☆が合わさるように折り重ねて、折り目をつけてから開く。三角の頂点部分はウサギの頭になる。
- ③ 穴につづきひもを通して蝶結びをする。できない人は固結びでもよいけれど、できる人は蝶結び。をの指示がある。
- ④ ちぎり用紙を太線に沿ってちぎり、白い画用紙の右側に糊付けする。画用紙に描かれている▲にのりを塗り、▲が隠れるようにちぎったしっぽを貼る。
- ⑤ にんじんの色塗り。楕円の部分は橙色で、葉っぱのところは緑いろで塗る。
- ⑥ ピンク色の細長い画用紙を線の描かれているところで折る。できたら裏返して上下を反転させ、三つ折りになるように整える。ウサギの片耳になる。
- ⑦ 赤色の細長い色画用紙を破れないように結ぶ。結び目はつぶす。「こうやるんだよ。」と補足説明あり。もう片方のウサギの耳になる。
- ⑧ 両耳を①で作ったシールでウサギの目の位置にくるように貼って完成。

●体操

【くま走り】

クラスを 15 人に分けて教室を移動しておこなう。教室の端にイスが並べられており、受験番号順に着席。先生が 2 名おり、うち 1 名によるお手本があり、この際に「手足走り」「くま走り」をしようとして説明（速く進むことを意識するような声掛けで、「速く進みましょう」とストレートに説明されたグループもあるとのこと）。実演はあるが、途中で走るのを止めてしまう先生もいる。先生はストップウォッチを所持しており、操作音もするため明らかにタイムを図っている様子がわかる。コースはこれまで同様 U 字型コース。くま走りのゴールからイスに戻る際に指示もあり。なお、クラスによって報告が異なるが、くま走り後にトイレ引率や手洗いをおこなうこともある。

★手順

- ① スタート位置に着いて「よい、スタート」の合図でゴールまでくま走りをする。この際に「線をはみ出さないこと」、「赤ちゃん歩きになってはいけないこと」、「膝をつかないこと」、「お尻をつかないこと」
- ② ゴール位置を走り抜けたら、すぐに起きて気を付けをし、スキップで元いた座席に戻る。

★並び方の指示

- ・ 2 番目以降の受験生は、前の人が座席に戻ったのを確認したらスタートに移動する。

※ 2 番目以降の受験生に対する約束は、グループによって若干違うことも。受験番号を呼ばれた子、前の子がスタート位置に移動したらすぐに 2 番目の子はその後ろに移動するなど。

しながわ・目黒こどもスクール